

# 北辰会報

## 第26号

発行者 大阪府立北野高等学校  
 定時制課程同窓会北辰会  
 会 長 岡 田 多 間  
 編集者 事務局長 前 田 直 人  
 事務局 〒666-0262  
 兵庫県川辺郡猪名川町伏見台1-2-97  
 TEL・FAX 072-766-4170  
 maeda-inagawacho@gaia.eonet.ne.jp  
 印刷 株式会社グラフィカ  
 DTP TEL 06-6765-1210 FAX 06-6765-1211  
 デザイン info@graphic-a.net

## 2020年・新型コロナウイルスに 負けず、粘り強く!!

北辰会会長 おかだ たもん 岡田 多間 (18期)



今年はオリンピックの年として希望と活力を全国民と共に分かち合いたいとの想いで新年を迎えました。しかし、新型コロナウイルスの影響でオリンピックも1年延期が決まりました。

北辰会も2月には拡大常任幹事会で2020年北辰会幹事会議案書を取り纏め、幹事会の案内状も発送し、さあ今年も北辰会で元気を出し皆様と共に歩もうとやる気満々でした。それからが大変でした、北辰会もコロナウイルス対応で4月の幹事会は10月に延期が決まりました。しかし、北辰会報26号は5月下旬発行予定で事務局が頑張りました。

例年通りの同期会、同好会の開催も中止の連絡が多く届いています。その中で皆様に情報が届けられるのは、北辰会報26号、「北辰HP」～北辰会の広場～、「北辰会声の便り」です。会員皆様の電話、メールなど、それぞれの立場で連絡を取り合ってください。ある期では世話人がライングループを作り、文章、写真、動画などを発信し結束を強めているとの報告が届いています。

「北辰HP」もスマートフォンで閲覧出来ます。80歳以上になっても取り組みます。上手に使用えば世界が広がります。定時制育ちは逞しさがあります。皆様の奮闘を期待しています。

「北辰HP」について毎月の閲覧数は3000～4000件ありましたが減少していると担当者の話がありました。それに皆さんは直ぐに反応し記事の増加と共に閲覧数も戻っていると報告がありました。

北辰会報26号では賛助金のお願いを致しております。北辰会の活動は、会費を徴収せず会員皆様からの賛助金を戴いて運営しております。大事に使わせて頂きます。皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染の影響が拡大しています。私たちに経験のない状況です。

皆様の協力で一日も早く平穏無事な状況に回復したいものです。

皆様もウイルス対策と共に十分体調管理に努めて下さい。

### 目 次

|                                 |   |                           |    |
|---------------------------------|---|---------------------------|----|
| 会長からの挨拶 .....                   | 1 | 東京北辰会だより .....            | 5  |
| 校長からの挨拶 .....                   | 2 | この人あり .....               | 8  |
| 北辰会常任幹事による母校の萩原新校長先生を表敬訪問 ..... | 3 | 皆様からのたより .....            | 14 |
| 北野高等学校新任教頭 佐々木里佳先生のご紹介 .....    | 3 | 同期会・同好会だより .....          | 18 |
| 増野喬さんと竹本大鶴さんへの感謝状贈呈について .....   | 4 | 事務局からの報告 .....            | 25 |
| 感謝状文面の紹介 .....                  | 4 | 北辰会賛助金(運営資金カンパ)のお願い ..... | 28 |
| 新井さんの微笑み(4) .....               | 5 |                           |    |

# 「久遠の真理 想うかな」 ご挨拶

大阪府立北野高等学校 校長 はぎはら えいじ 萩原 英治

大阪府立北野高等学校北辰会会員の皆様には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、いつも変わらず北野高校のことを温かく見守ってくださっていることに、心から感謝申し上げます。

昨年3月に恩知前校長がご退職になり、後を受けて4月1日付で校長に任ぜられました、萩原です。どうぞよろしくお願いいたします。

赴任して間もなく、昨年の4月16日に北辰会の皆さま（10名いらしたと記憶しています）が校長室を訪ねてきてくださいました。皆さまのお話を伺っていると、楽しかった青春の思い出、そしてそれを育んでくれた母校への愛情がひしひしと伝わってきました。また、皆さんが、卒業後、社会に貢献されてきたこと、そして現在もなおそのお気持ちに溢れていることに感銘を受けました。きっと、母校である北野高校が、皆様に誇りと自信を与え、励まし続けてくれたのではないのでしょうか。

表題にお借りした校歌の一節「久遠の真理 想うかな」という言葉に、北辰会の皆さんがお持ちの高邁な理想と、人間としての高い矜持を感じます。

私は常々、生徒たちに「将来社会のためになる人間になってほしい」と話しています。皆さまのお話を伺い、この人材育成の方向性に一層思いを強くした次第であります。これからも母校を見守りいただき、応援いただけましたら幸いです。今後ともどうかよろしくお願いいたします。



萩原 英治 校長先生

# 北辰会常任幹事による母校の萩原新校長先生を表敬訪問

北辰会事務局

2019年4月16日（火）12時00分から12時30分まで母校校長室にて新校長：萩原英治先生（前所属 府立芦間高校校長）を表敬訪問致しました。

北辰会からは小河原副会長、前田事務局長以下10名が伺いました。

萩原校長先生は、長らく府立高校で教鞭を執られ、東住吉高校教頭、大阪府教育委員会事務局（現大阪府教育庁）、芦間高校校長を経て、4月1日付で北野高校校長に着任されました。気さくな明るい先生です。

校長先生からご挨拶を頂いた後、小河原副会長より、昨年5月20日に開催した北辰会総会が母校のご配慮により成功裏に終了できたこと、並びに日頃の北辰会活動へのご配慮に感謝とお礼を申し上げました。

続いて参加者それぞれが自己紹介する中で、在学中の思い出や母校への想いを語りました。最後に北辰会から会長も参加して気楽な懇親会を持ちたいとお願い致しました。校長先生の人柄に触れ、和やかに懇談ができ気持ち良い訪問となりました。また、新事務長として府立東淀川高校より富本佳成事務長が着任されました。今後とも宜しくお願い致します。



前列左から森田里江子教頭先生(当時)、萩原英治校長先生、小河原京子副会長  
後列 校長先生の後 富本佳成事務長

## 北野高等学校 新任教頭 佐々木里佳先生のご紹介

何時もでしたら新任の教頭先生には北辰会会長以下常任幹事が昼休みに北野高等学校を表敬訪問して、40分程度面会懇談させて頂いておりました。

今年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で訪問が出来ませんでした。そこで、先生のプロフィールを頂きました。

- ・ 先生は豊中市で子育てです。そして北野高等学校をご卒業されています。
- ・ 最初の赴任校は1993年（平成5年）4月 大阪府立鳥飼高等学校でした。
- ・ 北野高等学校へは2003年（平成15年）4月に赴任され、17年間英語教師として勤務されています。
- ・ 2015年（平成27年）から2019年（平成31年）は、北野高等学校首席（主幹教員）でした。
- ・ 2020年（令和2年）4月1日北野高等学校教頭に昇任されました。

また、北野高等学校へ長く勤務されていたので北辰会のことはご存知のようでした。お会いするのが楽しみの教頭先生です。



佐々木里佳教頭先生

（事務局より）





## 新井さんの微笑み(4)

### 挽歌

14期 故 <sup>あらい</sup>新井 <sup>みのる</sup>實



故 新井さん

去年、香川県に住んでいる友人のH兄から体調を崩した旨の便りを受け取った。「堤防の『夕べの星…』が段々遠のいていきます」と結んであった。

これは数年前、H兄と私が上京した折に東京と千葉に住んでいるS、W両兄の四人で会食した席で「今度会うときは十三の堤防で校歌を歌おう」と話したことを指している。以来手紙のやり取りで「十三の堤防で…」が決まり文句になった。

私は高校生活を大阪府立北野定時制過程で過ごした。東京で会った三人はそのときのクラスメイトである。その校歌が夜間の学校らしく「夕べの星」であった。

定時制に通っていたときが私たちの青春そのものであった。それから五十数年の時を隔てた。現在友人たちは職を退き家庭にある。しかし時を経ても学校に通っていた頃のことを忘れない。いやむしろ鮮明になっていくようだ。その定時制課程

が近々閉課程になるという。思い出の深いものがあるだけに残念だと思うのは私だけではあるまい。

H兄への返書に私はこう書いた。

「十三の堤防で『夕べの星』は諦めずに思い続けましょう。もしこの世で果たせなかったら次の世でやりましょう。もし十三の堤防がなかったら友人と一緒に作りましょう。こんな風に考えると私は楽しくなります」。

今年になってクラスメイトに関して訃報が二通届いた。一つはT兄、もう一つはMさんのご主人だった。私たちは七十歳代の半ばである。昔ならば知らず、現代では早世の部に入るだろう。残念である。そのどちらへも私はお悔やみの手紙を書けなかった。いや書けなかったのである。どんな言葉を並べてもご遺族を慰めることは到底出来ないと思ったからだ。

友よ挽歌を歌え

高らかに弔鐘を打ち鳴らせ

こう口に出してみても青臭いかつての文学少年かと苦笑したが、恥かしいとは思わなかった。

私と学校と友人たちへの挽歌である。

身辺のこと2008,1.13

\*事務局より

新井さんからは生前4冊のエッセイ集を預かっています。北辰会で適宜使用の許可を頂いています。北辰会では「新井さんの微笑み」のネーミングで主に北辰会報に掲載させて頂いています。今回は4回目になります。

## 東京北辰会だより

思い出すままに  
～広告業界は私の財産～

20期 <sup>こばやし</sup>小林 <sup>としお</sup>利夫

20期の小林です。

東京北辰会総会に初めて参加した錦糸町会館の中華料理店で開催した時と記憶しております。

会社の先輩江藤公彦さん（故人）から再三誘いを受けていましたが、仕事の都合で参加できず、この年が最初の参加でした。

会場に遅れて入るなり長くお会いしていませんので、懐かしさで一杯でした。特に大賀君とは広告会社の同業で仕事の上で



小林さん

も、遊びにもお付き合いをしております。

広告業界が世間から認知されていなかった時代、日本で一番古い大阪の広告会社で全国の新聞社を相手に広告の取引作業をする部署で大阪・東京合わせて38年間仕事に携わり、各県の新聞社の方々と知り合えたことが私の「生涯の財産」だと思います。

昭和38年、東京オリンピックに前年に東京勤務になり、勤務地、銀座の街には、まだ戦災に遭った残骸が残るビルもあり、オリンピックを控えて、高速道路やビル建設の工事が急ピッチの時でした。

又、東京の街路には都電が縦横に走り、都内の交通手段の中心でのんびりとしていて時間のかかる時代でした。今と違って街並みの移り変わりがよくわかりました。

創業110年続いた会社も2001年3月に倒産、あと一年で定年のところ失業し、雇用保険と60歳から年金受給で細々と生活していました。

広告会社の先輩から仕事の手伝いの声がかかり2年間又、その後、他の先輩から現在勤務の出版社が健康雑誌の創刊準備室を設置して以来老骨に鞭を打ちつつ広告業務をしています。

幸運な私の人生に於いて、先輩や友人に助けられたことを心から感謝いたします。

東京北辰会だより4号2011年発行より転載

\*事務局より

小林さんは東京北辰会の故佐々木幸政さんの右腕として「東京北辰会だより」の発行に尽力を尽くされました。中の記事は素晴らしいものが多く、北辰会報や北辰会出版物に転載させて頂きました。厚く御礼申し上げます。

## 私と北野高校

### ～血肉骨となった北野高校と先生～

21期 いはら 井原 のりかつ 功勝

人生は出会いである……。私は北野高校で立派な先生方や良い友人に出会い、貴重で楽しい時期を過ごす事ができた。毎日学校へ行くのが楽しみであった。一階の講堂で撮った卒業写真を虫眼鏡で一人ひとり拡大して眺めていると、当時の事がつい先日の事のように懐かしく浮か

んでくる。今、みんなどうしているだろうか。

### 毎日新聞大阪本社での仕事

朝、阪急京都線相川駅から天神橋行きに乗り、途中淡路駅で京都から来る梅田行きの急行に乗り換えて梅田駅に。阪神百貨店の前からその裏手にあったバラック建ての衣類を扱う問屋街を通って、桜橋に出て毎日新聞大阪本社に8時30分過ぎに到着。編集局で記者や編集者の指示で印刷局や関係部の間を、記事・写真・凸版・ゲラ等を運んだり、鉛筆を削ったり、原稿用紙を準備したりするのが仕事であった。当時、新聞社には編集局運動部に、三段跳びの金メダリスト南部忠平さんと平泳ぎ金メダリストの葉室鉄夫さんが勤務されていました。

学芸部には時々、作家の山崎豊子さんが顔を出した。「バナナポート」を歌ったアメリカの黒人歌手ハリーベラフォンテが、新聞社を訪問のときにはサインを貰った事もあった。山崎豊子さんの原稿は、身体に似ず大きくしっかりした美しい文字で書かれていた事。

今上天皇と美智子様のご成婚の際は、事前に特集記事が極秘扱いで組まれていた事。釜ヶ崎で暴動が起こった時は、社会部の記者が扮装して潜入取材をしたこと等々、中学出たてで世間知らずの私にとっては、見る事聞く事全てが新鮮な日々であった。

### 一路北野高校へ

仕事は午後4時に夜勤の者と交代。風呂に入ってから、4時半過ぎに退社。阪急電車で梅田駅から十三駅へ。西口改札を出て給料日などに、時々酒饅頭を買って帰った和菓子屋「喜八洲（きやす）」の店の前を通って三叉路の信号を渡り、ホテル街を抜けて十三公園へ突き当たったところで、道路を渡って校門に到着。校門を入ると右側はプール、左側はテニスコート。プールの周囲はソメイヨシノ、テニスコートの周囲にはボタン桜が植えられていた。グラウンドに続く道の両側には、ツツジが植えられていた。春はソメイヨシノが咲きボタン桜が続き、そしてツツジが毎年鮮やかな花を咲かせた。雨が降った後などは街灯の下でツツジの甘い香りが漂っていた。



## 学校生活

体育の時間には水泳の授業もあった。縦50メートル横25メートルのプールは当時の高校では珍しかったのではないと思う。水泳大会も行なわれ、私は25メートルバタフライで学年一位となり、バッジを貰ったことがあった。プールの横を通り過ぎると食堂があった。毎日5時10分頃には食堂に着いて軽い夕食をすませた。何を食べたか思い出せないが、多分、うどんや菓子パンなどではなかったろうか。そこで一息入れて教室へ向かった。

授業は5時半から9時まで。7時過ぎに20分ほど休憩時間があった。時間割は、1時限は5時30分～6時15分。2時限は6時20分～7時05分。3時限は7時25分～8時10分。4時限が8時15分～9時00分だったと思う。

授業は真面目に聞いていたが、時々猛烈な睡魔に襲われた。先生には申し訳ないと思いながらも、睡魔に負けてしまった事がしばしばあった。教室のあちこちで見かけられたこの様な光景を先生はどのように見られていたのだろうか。

## 授業以外でも多彩

級友には武田、藤沢、田辺等製薬会社やシャープや三菱電機、久保田鉄工に努める人、工場の経営者等、業種・職種も色々で、年齢もかなり年上の人もいて多士済々であったが、みんな真面目で人の良い、心優しい人ばかりであった。

春休みや夏休みには学校に集まり、ガリ版刷りの文集を作ったり、体育祭の時は放課後や休みの日に出て来て看板作りや応援の練習をした。

誰かが言い出して年末にお金を出し合い、餅

つきをして、施設に贈った事もあった。又、森本先生とクラスのみんなでよく六甲山にハイキングに行った。神戸三ノ宮へ下山の途中に見た“百万ドルの夜景”が夕闇の中で、キラキラと輝き素晴らしかった事。六甲縦走のあと有馬温泉で登山の疲れを癒した事等、同級生達との楽しい思い出は尽きない。

さらに、山岳同好会と出会いも忘れられない思い出である。職員室の奥に小さな部屋があり、世話役の志水さんがおられた。休み時間にはいつも山仲間が集まりよく談笑をしていた。体育の中沢先生や藤井先生も加わり、夏は北アルプス登山、冬はスキー、3月は比良山の雪中登山など、あちこちへ連れて行ってもらった。今何とか元気で過ごせるのはその時の鍛練のお蔭だと思っている。

勉強の方は、英語は多田先生、日本史・世界史は田安先生、数学と物理は岡田先生、生物・化学は森本先生、体育は中沢先生、藤井先生、音楽は宝塚歌劇団でも教えていた先生に教わった。先生方は皆さん本当に熱心に教えて下さった。

## 岡田先生の言葉

中でも岡田先生と森本先生には特にお世話になった。岡田先生は1年から4年までの担任だった。入学した最初の日先生は私達に、「諸君達は昼間働き夜学ぶと言う、普通の高校生とは違う毎日をこれから4年間送る事になるが、ここを卒業して将来立派な人間になって、諸君達のような境遇の人がなくなるような世の中にして欲しい。そして、社会に役に立つ人間になって欲しい。」と独特のとつとつとした口調で話された。私は今でもその時の言葉が忘れられない。

先生は音楽が趣味で音楽室には、先生自身が制作された大きなスピーカーが添え付けられていた。シューベルトの組曲《麗しき水車小屋の娘》《冬の旅》を解説付きで聞かせて頂いた事もあった。クラシックをじっくり鑑賞したのは初めての経験で、何か少し賢くなったような気がした。シューベルトの曲を聴くたびにその時の光景が浮かんでくる。先生には数学と物理を教わった。 $\Sigma$  (シグマ)、 $\epsilon$  (イプシロン)、 $\int$  (イ



嵐山公園での井原さん

ンテグラル) 等々専門用語が次から次へと黒板に並んだ。4年の微分・積分や物理の授業はお手上げとなってしまったが、先生に対する尊敬の念はますます高くなった。後年、先生は姫路の方の大学教授になられたとの話を聞いたが、今どうされているだろうか。

### 森本先生、人生の恩人

森本先生は私の人生の恩人である。考えてもいなかった大学への進学が、今からでも勉強すればできると言っただけで背中を押して下さったのが森本先生で、2年から卒業まで副担任としてお世話になった。生物と化学を教えて頂いた。

京都大学の理学部を卒業された後、高槻の医大の研究室で助手をされていた。私達は高校卒業後も医大の研究室で、入試の勉強を見て頂いたり、朝まで入試問題を解いたり大変お世話になった。

2年浪人して大学に合格できたのは、一重に先生のお蔭である。先生は気さくで良き兄貴のような存在であった。面倒見が良く、先輩、後輩を問わず先生を尊敬し慕う生徒が、いつも先生の回りには沢山集まった。先生は昭和44年頃に研究のためにニューヨーク大学に移られ、そしてそこで生涯を終えられた。級友の荒木不二夫君が会社の出張の際に大学を訪れて、先生に再会することが出来たそうだが、私は結局、その後一度もお会いする事が出来なかった。先生は今、天王寺のお寺に眠っておられる。4年前の北辰会報に18期生の先輩方10名が森本先生のお墓にお参りされた時の様子が報告されていた。遅まきながら私も近いうちにお墓参りをしたいと思っている。

### 一期一会を大切

私が北野高校に行く事になったのは本当に偶然であった。父の失業で中学の卒業を間近かに控え急遽就職をせざるを得なくなった。遅い就職活動ではあったが、運よく毎日新聞社編集局給仕として採用された。新聞社は夜間高校に行くことを推奨していた。北野高校は中学の担任の先生が薦めて下さった。

もし、そのまま昼間の高校に進学していたら・・・。

もし、就職したところが毎日新聞社でなかったら・・・。

もし、定時制高校に行っていなかったら・・・。

もし、北野高校に行っていなかったら・・・。

もし、森本先生に出会っていなければ・・・。

私にはどんな人生が待っていたのだろうか。人生とは不思議である。私は今年3月に古希を迎えた。6年前にサラリーマン人生を卒業し、出会いはめっきり少なくなったが、これからも良い出会いを求めて一期一会を大切にしていきたいと思っています。

(2014年発行、東京北辰会だより6号より転載)

\*事務局より

この原稿を読ませて頂いた時から会報に転載したいと思っておりました。北辰会の70歳を超えている人達には特に胸に滲みる話だと思います。しかし、これは現在の若い世代の人達にも心に響く真理を持っていると考えました。井原さんはマスコミ関係でなく金融関係のお仕事に就かれました。



## この人あり

### 宝塚市大原野西谷村の有名人 ～18期 林 治人さんの活躍～

18期 佐藤 寅夫

#### 里山の西谷村に生きる

18期の林 治人さん、生まれは愛媛県松山、元は大阪池田市の職員、独身の頃は溪流釣りが好きで近郊の猪名川の上流や武庫川の支流に良く出かけていたそうです。ある時釣りをしているうちに道に迷い出会った所が現在の大原野西谷地区（以後、西谷村と呼びます）ここは宝塚市の北西部に位置し現在では近郊都市から20～30分で行けるローカル色豊かな地区です。



林さん

自然の豊かさや里山の美しさは生物多様性保



全上重要な地区です。また、絶滅危惧種のサギソウ、トキソウ、ハッチョウトンボ等が生息する丸山湿原群は生物多様性の観点から重要度の高い湿地として環境省の指定を受けています。

当地区はNHKのテレビ番組でも里山特集番組として放映されたことが有ります。

最近では新名神高速道路が開通して宝塚北SAは当地区にあります。また、当地区は武田尾温泉、旧福知山線の廃線跡、武田尾溪谷、丘陵地に広がる田畑や棚田、桜、牡丹やダリア等栽培で四季を通じて変化に富んだ景観を織りなしていて、これ等に加え当地で働く人々の気風、伝統文化の行事等地域の風土に感動した林治人さんは以降西谷村にせっせと足を運び、数多くの西谷の魅力を発見して、ついに結婚を機に反対される奥様を説得して住まいも西谷村に移し現在に至っています。

#### 「西谷月報」の発行・50部から4000部へ

こうして西谷の良さを多く体験し当地を愛した林さんは、60歳の定年を機に自分一人で楽しんでいた西谷村の良さを広く皆さんに発信し、より多くの方の心の糧にならないかと、地域誌「西谷月報」を発行することを思い立ちました。

取材、編集、印刷、発行、配布と全て手作り、自費出版活動を開始したとのことです。最初は50部程度から始め、だんだんとファンが多くなり、今年（2019年）の4月号は遂に4,000部発行されたとの事です。四季の移り変わりをテーマとしたカレンダーの発行にも着手されています。高齢となり一時は中止を考えた時期もあった様ですが、初心の気持ちが忘れられず続けているうちに、6年前に思いを同じくする若者（当時29歳の女性）の支援を受ける事となり、名称も「にしたによいしょ」に改名して費用の方も宝塚市の助成金を得て、現在は4人のスタッフと活動を共にされています。

#### 社会教育課の非常勤職員

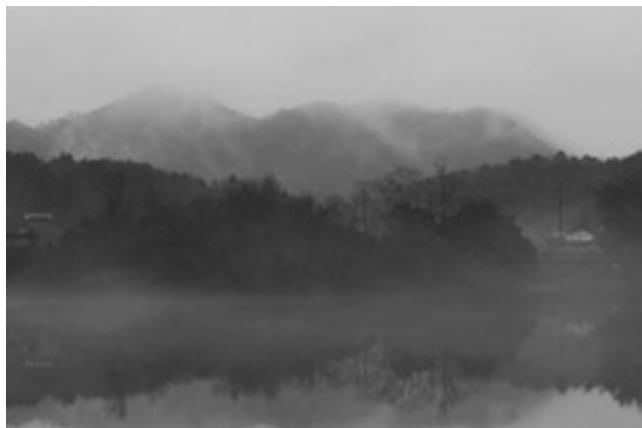
また、昨年10月から宝塚市社会教育委員会社会教育課の非常勤職員として日曜、祝日は「宝塚自然の家」にも関わっておられます。現在の西谷地区は人口約2,800人、世帯数約800世帯と

小さい集落ながら今では彼を知らない方は皆無で、何処に行っても歓迎され野菜のお裾分けは勿論、色々な情報が入る様になり嬉しい日々が続いているとのことです。

現在では発行した月報は宝塚市内の小中学校や図書館その他公共施設から数10部の単位で注文が有り身銭を切った発行ながらスタッフ一同誇りを持って取り組んでおられる様です。以下林さんのお勧め風景を紹介します。



春のお花畑



冬の山霧

## 自治会活動を通じて老人会へ！ ～終の住み家で第二の青春を～

23期 みつはし 三橋 えいいち 永一

#### 定年・自治会・老人会

11年前、自治会（当時1900世帯）の会長を引き受けました。サラリーマン時代は向こう3軒両隣しか知らなかった私ですが、任期の1年間の自治会活動をする中で、広い地域の事が隔々まで分かるようになりました。お葬式も一年間で自治会長として30数軒参列しました。仲の良かつ

た副会長と何時も二人三脚で、自治会員の様々な要望に応えてきましたので、あっという間の一年間でした。老人会はその時に知ったのですが、余り関心も無く、実は何をしているのか！興味も無く名前だけ貸す



自宅での三橋さん

名簿会員で、5年間は会費（年間2,400円）を払うのみでしたが、年に数回、赤飯を配ってくれていたのでは、会費分くらいは還元してくれているという印象しかありませんでした。6年前の夏頃、私の所属している地域の老人会の役員より、どうしても会長を引き受けて欲しい旨の要請がありましたが、70歳になったら考えますので・・・！お断りをしたのですが！もうその当時は解散寸前？だったそうです。

### 規約、記念誌を暗記する程！

会員の方から創立10周年、20周年記念誌を借りて、老人会の規約を暗記する程読みました。その中で得たキーワードは、住み慣れた終の住み家で如何に個々人の居場所を作るか！老人会って何をするのか？どんな居場所を作るのか！その答えは・・・！

双葉会讃歌（20年前に会員が作詞・作曲した）の歌詞の中にありました。

双葉会会則第3条（目的）本会は会員相互の親睦を図る為、諸クラブ活動を積極的に行い、会員が健康に豊かな生活の維持・向上を図ることを目的とすると明確に記されています。

6年前にはカラオケ部しか残っていませんでしたが、今では何と11クラブが誕生しています。それもユニークなクラブばかりです。多様化した住民のニーズに応え、開かれた会を創れば会員は増える事がわかりました。

### 歌う広告塔と素敵なコーラス指導者との出会い

先ず手始めに、地域の中で、私達の老人会が

何をしているのか分かるように、自治会員に、オープン行事をどんどん企画しました。

また、新しく加入してくれた会員の要望で、歌を歌いたい！コーラスがしたいとの要望がありましたので、コーラスを指導してくれる先生を探しました。運良く、元中学校の校長先生（女性）で、音楽担当の素晴らしい講師に出会えました。8人からスタートしたのですが、今では35名になり、我がクラブの歌う広告塔のようです。以前、府老連の記者が来て取材を受けましたが、たかだか老人会のコーラス部だと思っていたそうですが、本格的なコーラス隊のようだと、ビックリされていました。コーラスを指導する先生が面白くて、会員仲間がどんどん増えました。

この1年間で、ご主人を亡くされたコーラス部員の方が3名おられます。そんな事はおくびにも出さずに、たくましく、元気に歌っている姿を見ると、涙が出て来る程嬉しくなります。因みに例会時にピアノ伴奏をしてくれている方は90歳の女性会員です。

### そこにはドラマが！

南花台にはもう一つの老人会があるのですが、年に一度の懇親会時に、麻雀クラブを作ったら、男性会員が増えると言うアドバイスを頂き、回覧をまわしたところ、早速、一本の電話が入りました。ご主人が脳梗塞の後遺症で利き腕に障害が残っているとか！その上、言語にも障害が残り、当初はコミュニケーションが取れなくて、ちょっと不安でしたが、奥さんが付いておられたので、奥さんも麻雀クラブに入りませんかと言掛けをしましたが、ご主人の自立を促す為に、当初は入りませんでした。楽しく麻雀をしている姿を見て、私も入れてと言われて、ご夫婦で楽しんでおられます。リハビリの一貫としてコーラス部にお誘いしました。あれから6年です。楽譜は片手で持っておられますが、声は殆ど皆さんと同じように出しておられます。一つ一つがドラマを見るように甦って来ます。

### 70歳、私の町では青年部！

時たま、私の学生時代の恩師が聖路加国際病

院の名誉院長で有った日野原重明さんと一緒に東京で「新老人の会」の活動をしていた関係で、新老人の会の活動や規約に興味がありました。そこからのパクリですが、一部規約を改定して会員の区分を新老人の会より、それぞれ10歳嵩上げしまして、

- 1) 85歳以上をシニア会員
- 2) ジュニア会員 (75歳から84歳まで)
- 3) サポート会員 (60歳から74歳迄) に区分して、社会で言う後期高齢者と言う年齢層に関係なく、思い切って若くしました。

「70歳古来稀な歳なり」1300年前に生まれた言葉ですが、その当時、70歳と言えば仙人のようだと思いますが、今ではサラリーマン川柳で

歌われているように「70歳オラの村では青年部」です。

## 2012年「平和」を伝える天皇陛下(現上皇)の言葉

私が老人会の会長就任時に、初めて手にした大阪府老人クラブ連合会発行の機関紙「ねんりんOSAKA」第143号の記事で、全老連（全国老人クラブ連合会）創立50周年記念行事（平成24年10月4日）に、当時の天皇皇后両陛下がご臨席され、その時の挨拶が掲載されていましたのでご紹介したいと思います。

「・・・、今日の高齢者は-私もその一人ですが-多くの人命が失われた悲慘な戦争によって荒廃した国土から立ち上がっていく我が国と歩みを共にして来られました。私どもは若い時に**平和の大切さ**を身にしみて育った世代です。皆さんが老人クラブなどの活動を通じて、それぞれ若い時に或いは青年として経験したことを、子ども達や若い世代の人々に**直に**伝えて行く事は、我が国のために極めて大切なことと思われまふ。将来に亘って元気に過ごされるよう願うと共に全国の老人クラブの活動がより一層発展することを期待する」と結んでいます。

新老人の会の規約第3条（目的）第2項に、本会は、20世紀の負の遺産である戦争体験を語り継ぎ、貧しさや苦境の中から得た貴重な体験を次の世代に伝えと記されています。

残念ながら、日野原重明さんは、昨年105歳で亡くなられましたが、今でも全国に支部が有り、

その精神は引き継がれているそうです。

## 老人クラブでの活動報告

大阪には大きな老人クラブが三つあります。私が所属している河内長野市老人クラブ連合会も加入している大阪府老人クラブ連合会（約24万人）・大阪市老人クラブ連合会（約5万人）・堺市老人クラブ連合会（4.5万人）。

平成28年8月府老連の役員研修会に活動報告する機会がありました。平成29年8月には大阪市老人クラブ連合会からの役員研修会に呼ばれました。研修会終了後、事務局長より手土産ですと渡されたのが、宮崎県老人クラブ連合会の機関紙「さんさん宮崎」と言う機関誌に何と、我が老人クラブが紹介されていました。そう言う意味では、私たちの活動が全国の老人会仲間に、勇気と励ましになっているのだと思うと嬉しくなります。

## 地域での受け皿作り！ そうだ！これだ！

昨年の4月から地元の小学校体育館で6台の卓球台が使えるようになりましたので、自治会を通じて卓球部員募集の回覧を回しましたところ、応募がありました。62歳で定年退職して、さて！4月から何をしようかと模索している最中に、卓球クラブ員の募集回覧が回って来たので、**そうだ！これだ**と思い、躊躇なく飛び込んで来ました。今では、一徳防登山クラブやウォーキングクラブにも参加されています。又、専門が体操の元高校の校長先生と言う素晴らしい指導コーチの下で、11番目の卓球クラブが軌道に乗りました。

老人会って何をするのかという原点にかえって、多様化した様々なニーズに応えられるような居場所・受け皿（諸クラブ活動や個性やそれぞれの能力を生かした生き甲斐づくり）を作るのが、地域における老人クラブの役割かと思えます。6年間の地域での老人会活動のキーワードはそれぞれのニーズに応えた居場所作りと貴重な先人たちが遺してくれた財産を私たちがどのように使っていくのかだと思います。終の住み家で第二の青春をと呼び掛けています。

僭越ですが私の所属する老人会の活動を紹介



させて頂きました。

全国の老人クラブで自前の会の讃歌を持っている老人クラブはないと思います。これは自慢です。

＊事務局より

前年号に続き三橋さんの地域活動を紹介させて頂いています。三橋さんには多くの素晴らしい引き出しがあります。人に見せびらかすのでなく登山、語学、コーラス、老人会などどれも一生懸命に取り組まれています。双葉会讃歌の歌詞と老人会ニュース2020年3月号の資料を提供して頂きましたが紙面の都合上掲載出来ませんでした。深くお詫び申し上げます。三橋さんのご活躍には北辰会にも通じる所が多くあり元気を頂いています。更なるご活躍を祈念いたします。

## 歴史に学ぶ (2)

### 「五重塔は巨大地震でもなぜ倒れないのか」 ～教育の観点から～

26期 かねだ 兼田 よしはる 吉治

#### はじめに

法隆寺の五重塔は創建以来1300年を経過している。この間、どれだけの巨大台風や巨大地震に襲われたことだろう。しかし倒れずに今も健在である。歴史上、五重塔や三重塔など、木塔といわれるものは全国に500ヶ所以上あるとされるが、地震で倒れた事例はほとんど無い。1995年の阪神大震災でも、兵庫県内にある15基の三重塔は1基も倒壊していない。

この要因は何であろうか？これらについて考えてみたいと思う。

建築学的には五重塔の耐震構造である「柔構造」について研究された報告書は数多く、すでにほぼ解明されている。私が歴史に学びたいのは建築学的ではなく、朽ち易い材料で作られた柔構造の木造建築を1300年もの間、どのようにして守り、進化させ、維持してきたかという匠の技術と継承についてであり、これを可能にした教育とその背景についてである。

#### 神社仏閣建築技術の向上と技能伝承について

##### ～金剛組を通じて読み解く～

日本に仏教が伝わったのは6世紀半ばと言われ

ている。飛鳥時代の578年、四天王寺建立のため聖徳太子によって朝鮮半島の百濟より3人の宮大工(金剛、早水、永路)が招かれた。この人達の指導により推古天皇元年(593年)四天王寺が建立され、この頃から日本で本格的寺院の造営

が始まった。そして推古15年(607年)に法隆寺が創建された。その後、8世紀には遣唐使を通じて中国様式が入って来た。9世紀末に遣唐使が廃止されて以降鎌倉時代までは、大陸文化の影響を受けず日本の国土や習慣に合わせた独自の様式「和様」が発達する。13世紀に中国から「大仏様」「禅宗様」という建築様式が入り、14世紀、鎌倉後期から室町にかけては前記3様を折衷した「折衷様」も生まれる。各時代の宮大工たちはさまざまな工夫をしながら建築技術の向上と伝承に挑み、独特の技法を生み出し、その技を磨いてきた。

ここで、これらの建築技術の向上と伝承を可能にしたものは何だったのだろうかと考えてみたい。金剛組は前記した3人の宮大工の中の金剛重光が創業した6世紀から現存する世界最古の企業である。江戸時代までは、金剛家の当主は代々、四天王寺の「正大工職」(しょうだいくしよく)を拝命してきた四天王寺のお抱え大工であり、金剛組の歴史のほとんどを四天王寺のために働いてきた。四天王寺は聖徳太子建立七大寺の一つで、日本における本格的な仏教寺院としては最古のものであり、広大な寺領と伽藍を有していた。この広大な寺院の建築や改修を金剛組は明治維新まで1250年の間一手に引き受けてきた。金剛



法隆寺五重塔



匠達が伝承した木組み

家は四天王寺のお抱えの宮大工として、毎年、定まった禄にあずかっていた。このため経営を心配することなく、安定して建築技術の向上と伝承に取り組むことができた。宗教と学問の府である四天王寺において、建築を教え、学び、伝承する四天王寺大学建築工学科としての役割を果たして来たのではないだろうかと推測するのである。

しかし明治に入ってこの関係は一変する。1868年（明治元年）、新政府が神道国教化の方針から神仏分離令を出すと、神仏習合の風習が否定され、廃仏毀釈運動が起きた。これによって、全国の多くの寺院が廃寺となり、価値の高い建築物や仏像が大きな被害を受けた。四天王寺も例外ではなく、寺領を失い、金剛組は四天王寺からの禄を無くした。それまで経営を考慮して来なかった金剛組は四天王寺以外の社寺建築に取り組むも経営は困難を極めた。当然ながら建築技術の向上と伝承は維持できなくなる。

それから約60年後の1934年（昭和9年）、室戸台風で四天王寺の五重塔が崩壊した。それまで日本の歴史の中で戦や落雷での焼失はあっても、五重塔が台風や地震で倒壊した例は無かった。それなのに四天王寺の五重塔が唯一台風で倒壊したのである。この要因を考えると、明治維新以降に金剛組による技術伝承が絶え、十分な補修技術が維持できなかったことが遠因としてあるのではないだろうかと推測するのである。これを裏付けるかのように、五重塔倒壊2年前の1932年に、職人氣質が強かった37代当主金剛治一棟梁は、経営が極度に困窮したことを先祖に詫げるため、先祖の墓前で割腹自殺を図ったのである。

これらの状況を考える時、教育の大切さ。教育や技術・技能の伝承を私企業に任せるのではなく、国が公的な制度として体制を整えることの重要性を感じるのである。

### 法隆寺での建築技術の向上と伝承

世界遺産法隆寺の西大門を出ると、幅3m程の細道が一本西に向う。その両側に土壁に囲まれた質実剛健で洗練された町並みが広がる。ここは斑鳩町西里と呼ばれた法隆寺西1丁目。かつて



法隆寺西里の街並みと筆者

法隆寺の建立、作事に携わった匠達の故郷である。匠達は世代を超えて技術を受け継ぎながら造営や修繕を行ってきた。この西里は法隆寺の昭和の大修理を手がけた宮大工の棟梁西岡常吉氏の出身地でもある。また、その子西岡常一氏は薬師寺金堂の再建の棟梁である。伝説の父子はここ西里を一族の故地としている。

西里に掲げられた案内板によれば、「近畿一円の大工支配となった中井大和守正清の出身地で、その父、孫大夫正吉は法隆寺大工の棟梁で、京都の方広寺大仏殿建立、大阪城築城にも携わるなど、大掛りな専門集団であり、関ヶ原の合戦以降は徳川家康に取り立てられて伏見城の築城、江戸城本丸や天守や法隆寺の大修理にも携わった」とある。

法隆寺は50～80年毎に修理、補修を行ってきた。さらに過去4回の大規模な解体修理が行われている。昭和の大修理の以前は500年前だという。ここにも想像を絶するような長期にわたる技術承継の営みがある。

そして、四天王寺と同様に、法隆寺大学建築工学科と呼べるような、建築を教え、学び、伝承する集団の場があったと思えるのである。

### 伊勢神宮における式年遷宮の技能伝承

伊勢神宮において行われる式年遷宮は20年に1度、東と西に並ぶ宮地（みやどころ）を改めて、古例のままにご社殿や御装束神宝をはじめ全てを新しくして、大御神にお遷りいただくお祭りである。天武天皇時代（685年）に式年造替（しきねんぞうたい）の制が定められ、内宮では690年、外宮では692年を最初の造替とし、始めは19年に1度を原則とし、1320年代より20年に1度を原則として遷宮が行われた。「式年」とは定めら



れ年を、「遷宮」とは宮を遷すことを意味する。

この式年遷宮も1300年にわたり繰り返されてきた。式年遷宮の技術伝承の上から、宮大工や神宝製作の匠の技を伝えるのに、二十歳代で入門して指導を受け、四十歳代で一人前となって腕を振るい、六十歳代で棟梁や指導者になって後輩を育てる合理性があると言われている。20年周期とする事で匠の一生において3回の遷宮に携わることができるのである。

遷宮にかかる費用は、古代には朝廷、鎌倉時代には鎌倉幕府、江戸時代には徳川幕府、明治以後戦前までは政府によって賄われてきている。宮大工の禄の面からみると、式年遷宮前後の7年間は160名程の匠と技能者の雇用が続き、別宮の遷宮終了後は優秀な匠30名程を伊勢神宮お抱えとして残し、その他の技能者は解散。以後12年間、30名の匠は摂社・末社の修繕・造り替え等を担当する。本殿の遷宮終了後15年目に、次の遷宮のための木材加工が始まり全国から技能者を雇い入れていく。この時、遷宮を経験している30名の匠が新たに参加する技能者の教育を行う。ここで重要なのは、技能伝承に必要な中核となる匠30名を遷宮終了後も常時抱え、維持・更新事業に従事させることによって技能と技術を維持していることである。

このように、神社建築も寺社建築と同様に1300年前の同じ時期から技術伝承の営みが行われて来ている。共に禄を心配することなく技術伝承を可能にしてきているのである。

## おわりに

2012年ノーベル生理学・医学賞を受賞された京都大学iPS細胞研究所長の山中伸弥教授が、研究資金を集めるためにさまざまなマラソン大会に出場され寄付を呼びかけられていることは有名である。また、2019年にノーベル化学賞を受賞された旭化成名誉フェロー吉野彰さんも基礎研究の重要性や若手研究者を取り巻く研究環境の厳しさを訴えられ、これまでに受賞された賞金1千万円を日本化学会に寄付して「吉野彰研究助成事業」を創設されている。今回のノーベル賞の賞金の一部も同事業に寄付して地球環境問題の解決に取り組む研究者の資金に充てる考え

を明らかにされたことは記憶に新しい。また、国立大学を独立行政法人化した2003年の国立大学法人法の施行は、予算、組織編制などの自主的運営を求められる中で、科学研究費等の配分や、基礎研究、若手研究者の処遇や、萌芽的研究をどのようにして発掘するのか等、課題も多いとの指摘もある。また、ものづくり日本を標榜する大企業でも早急な成果を求める研究開発が多いと聞く。先人たちは50年先、100年先まで持続的発展が可能な体制を築き、先を見越して技術の向上と伝承を維持して来た。東方ばかりを向いて1機116億円もするF35B戦闘機等を大量購入する資金があるなら、その金の一部を上記にも活用する等、今の日本はどうあるべきかを我々は歴史から学びとることが今必要なのではないだろうか考える昨今である。

## 参考資料

- (1) 稲葉忠、「五重塔の耐震性の秘密」：千葉県高圧ガス保安協会会報 第66号 2011.8
- (2) フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』：「四天王寺」、「法隆寺」、「五重塔」、「神宮式年遷宮」,他
- (3) Goo blog：時空トラベラー 法隆寺 斑鳩町西里 匠たちの故郷は今
- (4) 平成25年度 国土交通白書：第2章 第3節 コラム 式年遷宮に見る技術継承と技術者確保
- (5) 防衛省：「平成31年度以降に係る防衛計画の大綱について」、「中期防衛力整備計画（平成31年度～平成35年度）について」

## \*事務局より

前年号に続き兼田さんの歴史に学ぶ2を掲載致します。兼田さんは職場研究所を定年後も後輩と一緒に大形回転機絶縁診断の研究をしています。それと歴史に学ぶは面白い組合せですね。又、忙しい中、北辰会事務局次長と「北辰会HP」の責任者として、北辰会に多大な貢献をして頂いています。



# 皆様からのたより

普通の生活が戻りますように  
～「新型コロナウイルス戦争」に勝ち抜こう～

26期 くわな こうじ 桑名 耕治

好天に恵まれた桜の季節も知らぬままに過ぎさり心が晴れない日々が続きます。新型コロナ



ウィルスの暗い雲が世界を覆い感染の勢いが収まる気配がなく町の活気も消えています。

外出自粛により藤井寺市のスポーツも完全ストップしています。私は一人ジョギングや夫婦登山で体調維持に努めていますが仲間とソフトボールをする楽しみを奪われ「悶々とした日々」を送っています。

東京の息子夫婦も二人の孫の面倒を見ながらの在宅勤務で苦勞していますが助けに行くこともできません。皆さんもご苦勞されていることと思いますが今は「やれることはやり切り」まず家族を守りましょう。

極めて深刻な状況にもかかわらず政府の対応にスピード感が見られません。緊急の財政支援で医療崩壊を食い止め重篤患者の命を守ってほしい。医療現場の方々の命を守ってほしい。中小企業や働く者全ての生活を守ってほしい。

私たち国民が一枚岩となれば「ウイルス戦争」に勝ち抜けるでしょう。その先にソフトボールを楽しむ仲間の姿が見えます。はやく普通の生活が戻りますように。



桑名さん



畑地さん

### タイの国民性～本当に優しく爽やか～

●数日の滞在で結論めいたことを述べるにはいささか遠慮が伴うが、体験から感じたことを記すことにする。

●伝統的に仏教国ということから敬虔な国民性と聞いていた。まさにそのように感じ取った。

●宿泊ホテルは一流ホテルだったので、当然ながらそのスタッフは教養を有し、またホテルマンとしての高度な教育訓練を受けているであろうと思しき、おもてなしの気持ちが随所に表れている。

●鉄道の駅員さんもそうであった。乗車区間の料金、自動販売機で切符を購入する方法、果ては乗車ホームへの道順まで懇切丁寧に教えてくれた。

●電車に乗ると席に座っていた青年が素早く年輩の私に座席を譲ってくれた。日本でもたまに見かけるが、この国では一味の違いを感じるのである。それは素早いこと、行動が心からという気持ちがこちらに伝わってくるのである。

片言で会話が成り立つ。少しだけでも意志の疎通が成り立つ。降車駅が近づくとは彼は携帯電話の画面に日本語で「お元気で、道中気を付けて!」と表示して画面を私の目の前に差し出した。そして今度は日本語で「さようなら!」と言ってくれた。

私は大阪流に「毎度! サワデイカ!」と両手を揃えてタイ式お礼のあいさつを返した。

「毎度」が通じたかどうかは? であるが、要は気持ちの問題なので通じているものと思うことにしている。

●タイ式の挨拶「コップンカ/こんにちは」、「サワデイカ/ありがとう」はいずれも両手を揃えて、お祈り風に相手に挨拶を申し上げるときの作法

## タイ式の挨拶

「コップンカ/こんにちは」、  
「サワデイカ/ありがとう」  
～タイ王国研修旅行レポートより～

23期 はたじ ゆたか 畑地 豊

### 初めに

2019年6月13日から16日まで正味2日間タイ王国へ会社からの研修旅行に参加しました。事務局よりタイ王国の国民性とイメージ、経験した事、感じた事を纏めて欲しいとの依頼がありました。短い日数と私の感性で書き上げるのは無理だと思いましたが、以下の通り纏めましたのでお読み下さい。



「国王・王妃の写真」モニュメント

と聞いている。短い瞬時の事であるが出会いと別れ、こんなさわやかで気持ちの良い感覚はタイ国ならではの経験と言える。

押し付けられた作法でもなく、生まれたときから備わっている、心からの作法であると理解した。相手の方は必ず瞬時にこの挨拶を返してくれる。

翻って日本国内で日頃散歩していて向こうから見知らぬ人が歩いて来るとする。私は山歩きの時のように知らない人にでも軽く会釈して「こ



「コップンカ/こんにちは」

んにちは」と先に発声することになっているが、打てば響くように挨拶を返してもらうことは、さほど多くない。

タイで感じたことは、それは事務的に挨拶を返してくれるということではなく「心から敬意を持って」が込められている様に感じた。良い勉強になったと感謝している。

●発展しつつしている日本に比べて、この国はまだまだ先進国に追いつけ、追い越せの気持ちがあると思う。日本人は少し鼻にかけて少し驕りがあるのではないか。日常の行動を見ていて常に感じていることであるが、異国に来て、ましてや、さわやかな“おもてなし”気持ちで大事にして頂くと、尚更その差を強く意識してし

まうのである。

「心から」の気持ちや、姿勢、行動を目の当たりに受けて、異国でそれを眺めて日本と比較した時に大きな違いを感じたものである。

#### バンコクのイメージ～大阪に似ているなあ～

都市の大きさや街のイメージからすると、日本の2番目に大きい「大阪市」に似ていると感じた。人口もほぼ840万人前後と拮抗している首都東京と違っておしゃれさよりも、経済追求、商売一本槍という庶民の活発な意気（気風）を感じた。

繁華街は何でも揃っており、大阪の繁華街とその利便性においては何ら不便を託つことは無いと思った。

コップンカ、サワデイカの精神が日常的に根付いている敬虔でフレンドリーなお国の皆さん、及びこの催行を実施してくださった会社のオーナーさんに感謝しつつペンを置くことにする。

(2019年6月21日)

#### \*事務局より

本稿は去る2020年1月23日付けで、ホームページ「会員からの便り」に掲載されたものですが、このたび本人の承諾を得て、その一部を割愛し「縮小版」として、ここに再掲載するものです。コップンカ、サワデイカ

## 楽しく勉強させていただきました ～2019年北辰会幹事会に参加して～

23期 <sup>ふくしま</sup>福島 <sup>じろう</sup>次郎

北辰会には1964年卒業後直ぐに北辰会の総会に一人で参加して、話し相手もなく、場違いの所に来たと言う思いしかなく、それからは北辰会の活動に無関心でした。その代りクラスの「ポンコツ会」の運営には少なからず参加しておりました。

北辰会の総会と幹事会の違いは大きいと思いますが、本日、幹事会に23期幹事の畑地さんから誘われて参加をさせて頂いてよかったと思っています。

幹事会の運営でお聞きした活動で、各期生ごとの活動を土台として繋がりを深めておられる

点と、役員さんの役割分担が明確で、運営もよかったと感心をいたしました。

参加者46名、欠席者も1名と少なく、熱心に取り組んでおられる皆様の報告を快く拝聴いたしました。

特にホームページの運営を、熱心に取り組んでおられる姿や、会場でのカメラマンの適切な撮影には感心致しました。

料理も多く、会費の金額では賄えないと、申し訳ない気持ちで遠慮なくご馳走を戴きました。本当にたのしく参加させて頂きました。

また、私も半分現役で活動をしておりますが、皆様の活動を聞いて勉強をさせて頂きました。

2019年3月19日 吹田市在住



石垣島での福島さん

経験は1回(相撲神社の勝利の聖)しかなくデッサンや文字の種類(隸書・楷書・行書)などいろいろと試行錯誤しながら取りかかりました。結果としては写真のごとく品位があり格調の高い行書で書こうと決め、表の面に3種類、裏面に2種類を相当な枚数で書きまわりました。文字の大きさ、行間やまっすぐに書いているかなど苦労しました。

3月30日(月)に地方巡業「大相撲桜井場所」に徳勝龍関をはじめ八角理事長や各親方衆をお招きして除幕式を行う予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で中止となりました。その後の日程は分かりませんがどのような優勝記念碑になるか今から胸がわくわくしている昨今です。

(追伸)パソコンにて相撲神社を検索して一般社団法人桜井市観光協会をクリックしていただければ「相撲神社」を詳しく見ることができます。

2020(令和2年)3月8日記



竹本さん



記念碑文字と竹本さん

## 大相撲優勝記念碑の きごう 揮毫させていただきます!

29期 たけもと はるお  
竹本 治男(大鶴)

徳勝龍関が令和2年大相撲1月場所において幕内最高優勝を果たしました。この功績は奈良県出身力士としては98年ぶりです。そこで桜井市穴師の相撲神社内「カタヤケシ」に、地元の世話人の方達が記念碑を建立することになりました。

高さ1500cm・巾900mと大きな石碑に揮毫をおおせつかり1週間であげてほしいとの依頼。石碑の揮毫

## 後輩とランチしました ～幹事会参加します!!～

62期 せんが しげよ  
千賀 茂世

11月27日67期生の山川靖子さんとランチしました

67期生(最後の卒業生です)山川靖子さんと、茨木で食事をしながら、いろんな話をしました。学生の頃から、優しく穏やかな思いやりのある可愛らしい生徒でした。

フレンドリー商店街のお惣菜屋さんで働きな



がら勤勉に学んでいました。

心から優しい、思いやりのある、穏やかな…しかし、芯のしっかりした人です。

今、彼女は潰瘍性大腸炎という難病と闘いながら、自立の道を歩んでいます。

以前の仕事は体調を壊したせいで辞め、今は少しずつ落ち着いてきたので仕事を探している



左から千賀さん、山川さん

との事でした。焦らず自分に合った仕事を公的機関等で相談し就労支援も受けつつ、気長に探す事などお話ししました。

素敵な先輩ばかりの北辰会の話もしました。岡田会長が「川西市広報便り」を朗読されていて、とても素敵なお声の聞き取り易い便りなのよと、お伝えしました。彼女が、「私も人の役に立つ事がしたいといつも思っています。素晴らしい先輩ですね。」「北辰会にも参加させてもらって、先輩方にお目に掛かりたいです。」と言っていました。

先輩の皆様、最後の卒業生を今度連れて行きますので、どうぞよろしくお願いします。

## 同期会・同好会だより

### 山岳同好会懇親会報告

世話人 20期 <sup>こだま</sup>児玉 <sup>たかお</sup>隆夫

日時:令和元年11月9日 12:00から15:00まで

場所:がんこ寿司十三総本店

今年で3回目となる懇親会。今回は体調不良や都合がつかなかった人が多く、佐野先生ご夫妻を囲んでこじんまりとした会になりました。それでも初参加の坪田紀子さんと三橋栄一さんの2名が加わって、落ちついた雰囲気の中でいつも



左手前から前田、坪田、上辻、児玉、  
右手前から三橋、佐野先生ご夫妻、三輪

ながら話の尽きない、旧交を温める会になりました。

今回も前田進さんが自家製のワインを振舞ってくれて、皆で美味しくいただきました。

出席者は佐野哲郎先生・広子夫人、20期：上辻昇子、23期：坪田紀子、20期：三輪元二郎、22期：前田進、23期：三橋栄一、24期：掛本洋之、20期：児玉隆夫の9名でした。

### 軟式テニス部への想い『仲間たち』 ～テニス部OB会を思う～

29期 <sup>はやしだ</sup>林田 <sup>ふじお</sup>富士夫

#### 10回目のOB会

軟式テニス部OB会を昨年11月、なつかしの母校の近く『十三がんこ寿司』で開催しました。

24期卒の先輩から30期までの10名の仲間が集い楽しいひと時に懐かしみ、昔をしのび若返り、それぞれが思い思いに歩んできた人生を語りあい、わずか3時間半の場では物足りない2次会3次会と繰り出す始末、時の経つのを惜しむ程の和やかな歓談の場を得る事が出来ました。

## 毎年開催を

O B会としては今回で10回目、年々参加者が減っていくなかで今回はたった9人、連絡系の私としてはちょっと残念で寂しい気分ではあったのですが今回来れなかったメンバーも含めると名簿上では27人、それでも今も18人との連絡は取れています。これは私にとっては皆仲間、親友、これからも横の連絡を大切にして連絡役を務めていこうと思っています。

今は令和の時代、昭和、平成、令和の三元号を生き抜いてきた仲間達、これからは毎年開催するつもりです。

## 心から繋がる北辰会

私事になりますが入学当時、集団就職の夜行列車（あかつき号）で長崎から一人で来阪、右も左も分からぬ時、庭球部に入りました。

淀川区の町工場に就職、仕事を終えてからの修学、授業が終ってからの部活、グラウンドを5周して素振り、そして会社の寮に着くのは門限ギリギリの11時、つらくて頓挫しそうになること幾度あったことか・・・

こんな自分を見守って励ましてくれた先輩の方々そしてお互いを支えあったクラスメート！！

これからも先輩後輩関係なく『仲間たち』とともに生きて行こうと思う。テニス部の皆に感謝、感謝、北野の『仲間たち』『北辰会』にありがとう。

次回は来春早々3月に予定、今回来れなかった方にも再度参集を呼びかけていきます。



左上から 森岡登さん、伊東さん、三木さん、中島さん  
左下から 森岡茂子さん、林田、柳原さん、木下さん、中山さん  
(撮影:中山さん)

## 途上人KITANO 2019年例会 小豆島に行ってきました

途上人世話人 26期 <sup>かねだ</sup>兼田 <sup>よしはる</sup>吉治、<sup>おがはら きょうこ</sup>小河原京子、<sup>うめたに たけし</sup>梅谷 武

2019年11月18日～ 19日14名の参加で「小豆島寒霞溪の紅葉観賞ハイキングと島内観光」を開催しました。今回はJRとフェリーを乗り継ぎ、島内観光はマイクロバスをレンタルしました。

寒霞溪では、登りはロープウェイを使い空中からの紅葉鑑賞、山頂では三笠山周辺を散策して展望を楽しみ、下りは表神懸12景遊歩道を歩いて二百万年の歳月が創造した感動の溪谷美を鑑賞しました。

島内観光では、二十四の瞳映画村や岬の分教場、マルキン醤油記念館、小豆島オリーブ園、中山農村歌舞伎舞台、中山千枚田、銚子溪お猿の国、など盛り沢山の施設を訪ねて旅を楽しみました。帰路は大部港からフェリーに乗り美しい夕日の中を日生港に向かった。天候にも恵まれ、美食の旅となりました。



二十四の瞳映画村、岬の分教場



三笠山の紅葉を楽しむ



## 途上人KITANO 2019年の 忘年会を開催しました

途上人世話人 26期 <sup>かねだ</sup>兼田 <sup>よしはる</sup>吉治、<sup>おがはら</sup>小河原京子、<sup>きょうこ</sup>梅谷 <sup>うめたに</sup>武 <sup>たけし</sup>

2019年12月7日（土）途上人KITANO 2019年忘年会を「ヒルトンプラザイーストB2たちばな」にて開催しました。恩師山田先生、輪島からの宇羅さんを始め16名が集いました。猪之良さんは春からの大病を克服して参加して頂きました。前田さん（北辰会事務局長）、井口さんご夫婦、中西さん、渡部さん、大亀さんも元気な顔を見せてくださいました。桑名さんはその日の朝10kmマラソンを完走した後に駆けつけて下さいました。仁張さん、小池さん、小谷さん、梅谷さんは3週間前の小豆島例会でも一緒に楽しみました。

小河原さんの司会で開会。兼田世話人から11月の「小豆島寒霞溪紅葉観賞ハイキングと島内観光」等、今年の活動と来年の予定を報告。その後、前田さんの発声で乾杯。1年ぶりの人など笑顔で近況を語り合い楽しく歓談しました。



右から山田先生、渡部、井口、桑名のみなさん



世話人の右手前より梅谷、小河原、兼田の皆さん

## 「一筆書き旅行」 初秋の丹波路駆け抜ける」 ～13期 歩こう会～

13期 <sup>うねさ</sup>畝狭 <sup>つねお</sup>恒雄

10月1日午前10時JR大阪駅中央改札口前に集合。今日の参加者は、坂野さん、岡田さん、谷村さん、向井さんと畝狭の5人神戸線の立花までの乗車券を買い、4番ホームから丹波路快速篠山口行きに乗車、出発。



畝狭さん

大阪駅を出発して1時間。もうすぐ終点篠山口です。車窓には収穫間際の黄金色の穂波に負けじと深紅の彼岸花の群生が咲き誇っており、誰にでも懐かしい原風景が流れて行きます。

車中、この景色が見たくて一人神戸からやって来た年配のご婦人にもお会いしました。列車は終点篠山口に到着。隣のホームの福知山行きに乗り換えて谷川まで行きます。

列車が下滝駅付近に差し掛かると篠山川の奇岩、断壁、深淵が溪谷の緑と調和して景勝地と



下滝、川代溪谷



手前左 坂野さん、その奥岡田さん、手前右 谷村さん  
その奥 向井さん



言われる川代溪谷が車窓から覗かれました。

また、この地で2006年恐竜の化石が発見され、丹波竜と親しまれています。

谷川駅では支線加古川線の西脇市行きの電車が待っていました。出発は32分後の12時10分です。車内でゆっくり弁当を開きました。1両編成ですが車輦トイレもついています。電車は定刻通りに発車。

西脇市は東経135度、北緯35度が交差し「日本へそ公園」が整備され週末は多くの人で賑わっています。

懸念された天候も快晴で、初秋の丹波路を満喫しました。

大阪駅10時21分発 大阪駅到着14時38分の都合4時間20分の一筆書き旅行でした。

#### 一筆書き旅行のコース順

大阪～尼崎～宝塚～三田～篠山口～谷川(福知山線)～日本へそ公園～西脇市～加古川(加古川線)～明石～三宮～芦屋～立花～尼崎～大阪

### 2019年17期同期会・日帰り武田尾温泉の報告 ～皆さん80代～初参加が毎年ある元気な17期会～

17期幹事 あずま かずこ 東 和子

山々が真っ赤に色づき心地よい季節となりました。わが17期同期会は日帰りと一泊旅行を毎年繰り返していますが、今年は日帰りの年、武田尾温泉「別邸アザレ」で開くことが出来ました。参加者21名全員が80歳代となりましたが5年ぐらい前より「久しぶりの参加です」と言って参加される方が毎年おられ、その人たちの力で17期会は大きくふくらんでおります。

去る10月16日武田尾駅10時半集合、アザレ送迎バスに乗車したのは半数に満たず、大勢が秋晴れの下、徒歩で楽しそうに歩いて行かれました。

#### 希望者温泉入浴後

会議室での報告会では 初めに本部事務局会



2列目中央 東さん

計監査の水口氏より北辰会の現況、今後の見通しを分かりやすく説明して下さい、賛助金への協力も訴えられました。そのあと一人ひとり全員の近況報告ののち団樂の宴会に入りました。

#### ～7.26熱き青春時代など話が弾む～

——永年17期幹事を務めてくださった堀田さん  
武田尾は彼女（現夫人）と初めてデートしたところで懐かしいな・・・

——この辺りは休みにになったら来ていたという馬場さん

——廃線跡を先に歩いて参加した上垣内さん

——飯盒炊爨や川遊びをよくした・・・みんなでわいわい

途中では文筆家の久保さんから上梓された「大阪砲兵工廠物語」を参加者全員に贈呈されるなど意義深い一日になりました。

来年は一泊旅行 新しい幹事も加えてさらに楽しい同期会になることでしょう。楽しみです。

2019年10月吉日 記

### 北辰会 18期同期会 ～『人生これからの皆さん』～

18期 きたむら のぶお 北村 暢夫

♪ゆうべの星のまたたきを 理想の影の仰ぎつつ♪

平成31年3月23日、校歌斉唱で平成最後の同期会が終わりました。



最前列:右から 岡田会長、3 人目 佐藤会計監査、  
2列目右からの3人目古城前会長、最後列:右から 2 人目 筆者北村さん、

会場は毎年おなじみの「十三東・こがんこ」で、出席者は20名でした。

振り返ってみますと、卒業して約60年の歳月が経ちました。

食事をしながら歓談していますと、一瞬にして北野高校時代の若き日に、時間は巻き戻されます。お酒が入ると益々弁舌爽やかになっていきます。あの科目は楽しかった。この授業も面白かった。数学には参った。国語の某先生は短歌を「歌会始め」のように、抑揚をつけて歌ってくださいました。また、プールでの水泳は大変だった。食堂のうどんは美味しかった。などなど昔話で盛り上がりました。

近況報告は、現在の心境や趣味、これからの生き方に対する思いなど、一人ずつ述べていただきました。また、在学中には交流の無かった方とも肝胆相照らし話し合えました。人生八十歳ともなりますと、説得力があり、感銘するお話が多々ありました。

今後は出席者も減るものと予想されます。これまで参加出来なかった方々も、是非ご参加をお願い致します。

## 令和元年17期南部学級クラス会

17期幹事 かじわら 梶原 きよし 清

令和元年11月19日に例年通りエスカイヤークラブ駅前第三ビル店にて開催しました。

メンバーの皆さんも歳を重ね、年々参加者が少なくなっていくのが少し寂しい感じですが、

今回も14名集まることが出来ました。

南部先生の顔が見えないのが本当に残念ですが、先生の体調と相談しながら来年はぜひお顔を見たいものです。

思い出話に盛り上がりました同窓会、来年もみな元気にお会いしましょう。今年参加出来なかった人も早く元気になって欲しいです。そして、お互いに元気な姿でお会い出来るのを楽しみにしております。

2020年1月20日



後列:左端 平子幹事、左から 3 番目 山本幹事、同 6 番目 梶原幹事

## 24期会近況報告 ～24期54年目の集い大盛会～

24期事務局員 さかもと 坂本 しげお 茂男

5月13日、十三ジャンボカラオケ集会室に恩師山本、菊井両先生をはじめ20名が大集合。まさに 真昼の大宴会?を挙行了しました。

正午過ぎ田辺幹事長の開会宣言、前田泰子司会の進行で始まりました。まずは前田さん手作りのお惣菜、クロワッサンのサンド、ハムサラダ各種、フルーツとりどりに、中村さん差し入れの名物焼きサバの寿司絶品、

まずはビールと下戸 はソフトドリンク、山本先生御発声で乾杯、近況報告こもごもに、後半は飲めや歌えの 大宴会、詳細は別途会報に掲載します。ここには両先生の近況報告と写真を掲載いたします。



集合写真中央山本先生、と前田さん、その右奥、菊井先生

正面、前列の2人左、小泉カメラマン、右、前田 司会の真後ろに菊井先生、その右に山本先生。後ろの横断幕、いつもおなじみ、坂本昭雄さん手作り今回は大相撲夏場所開催に合わせて相撲文字の力作です。

山本彰良先生の近況報告、24期の皆さんお元気ですか。小生は85才になりました。緑内障で左目はほとんど見えず、右目もぼんやりとしています。新聞などは少し読むのに長時間かかります。足腰は弱っていますが4～5千歩程歩いています。5月3日は憲法記念日です。小生が中学2年(1947年)の時に施行され、学校でこの憲法を明治憲法と比較して習いました。以来72年間、日本は戦争をしませんでした。憲法を守りましょう。

菊井忠雄先生の近況報告、昨年の年末から今年の正月にかけて、肺炎と心不全の為、18日間入院しました。やっと平常に戻り散歩もできるようになってきました。5月13日には、元気に参加できると思います。毎年楽しみにしている集いですから、何をおいても参加します。よろしくお願いします。

下の写真は自宅からの道路が混んでいて、集合写真撮影に間に合わなかった松本さん、いつもながら素晴らしい歌声を聞かせて貰いました。写真はそのショット。

会は盛り上がり、延長やむなし、幹事



松本さん

感激の30分延長、最後は校歌 3コーラス肩を組みながら合唱して 来年の55周年の開催を決意してお開きとしました。

## 25期 皆様の近況報告

### No.14より抜粋

水原渭江先生 欠席 高槻市日吉台

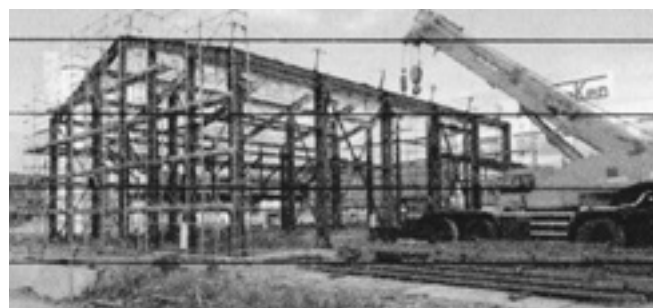
#### 水原渭江先生の近況

電話で奥様に近況をお尋ね致しました。

先生は、現在89歳です。満身創痍の状況ながら奥様のサポートを受けています。手足、食事満足にお一人で賄えません。しかしながら合間は論文に取り組み、中国関係の書物を読んでいます。あちこちの部屋は本が散乱しているそうです。流石に学者先生のお姿と思いました。

先生からの案内状の返事は漢詩で書かれて、右手を左手で添えて書かれたそうです。私には、判読出来ませんでした。出来ても漢詩を理解する資質がありませんので上記のように奥様に近況をお聞きしました。近況報告集をお待ち下さい。お元気でお過ごし下さいとお伝え致しました。(文責 前田)

宇羅恒男 出席 輪島市町野町栗蔵井ー14



ライスセンター建設中



5月16日 お客様の体験会を行いました



**渡部克彦 出席 大阪府豊能郡豊能町光風台**

高齢老人になりました。地面を見て歩く割合が周囲の様子や空を見て歩くより多くなっています。

**佐々木亮 出席 河内長野市小山田町**

ご苦労様です。お世話をかけます。

焼酎にしたら血糖値が標準になり、先生に“健康優良児ですね”とほめてもらいました。

頭以外は健康です。本、書類、アルバムと終活を始めました。

ぼつぼつとボケが発生していますので…。

**宮脇茂之 出席 松原市天美東**

今年1月末に同級生の山本浩司君が山口県より来阪されておよそ40数年ぶりの再会でお互い分る心配でしたが待ち合わせの阪急神崎川ですれ違っても分らずスマホの声でようやく分かりました。積る話に花が咲き、楽しい時を過ごしました。

**福原直治 出席 兵庫県神崎郡市川町奥**

宮脇さんからお誘いがあり、参加する返事を致しました。最近肺の調子が悪く、好きな煙草も止めました。これで多少持ち直しました。気張って参加します。

日常は少しの畑仕事をしています。奥様より

2019.10.30 ご逝去の連絡ありました。合掌



故 福原さん

**小澤政夫 欠席**

2019.10.12 ご逝去されました。お悔やみ申し上げます。奥様よりご連絡ありました。最後まで気丈夫にふるまわれていたそうです。合掌



故 小澤さん



前列右端斎藤世話人、同3人目吉岡世話人

## 27期会の報告

27期幹事 <sup>あだち</sup> 安達 <sup>せいじ</sup> 清治

5月19日「宝塚がんこ苑」で的場、南野、山田3先生を含む18名で開催致しました。

少し遠方の「宝塚がんこ苑」で開催したためか、参加人数が少なかったのですが

皆さん地域で元気に活動されているお話がいっぱいで盛り上がりしました。

次回は、十三での開催にしたいと考えています。



前列左端より南野先生、3人目 山田先生、4人目 的場先生、後列左端 安達さん

## 事務局からの報告

### 2020年幹事会延期

2020年北辰会幹事会は当初4月12日に開催出来るよう2月に案内状、議案書等を出席者の皆様にお渡ししていました。しかし、新型コロナウイルスの影響で10月4日に延期し、それも開催出来ない時は「2020年幹事会議案書は承認されたものとする」との方針を会長と事務局2役で協議し決めました。関係者皆様に連絡致しました。

2020年2月吉日 北辰会事務局

### 2020年北辰会幹事会議案書 会報26号用に抜粋、編集

#### 一. 人事の報告（敬称略）

##### 1. 常任幹事の異動（幹事会承認案件）

退任 27期 安達清治

##### 2. 幹事の異動（報告案件）

退任 23期 堂本敦子、23期 倉田淳子

新任 23期 三橋永一

##### 3. 事務局（報告案件）

###### ①常任事務局員の新設（事務局長管轄）

新たに事務局の中に常任事務局員を設置致しました。

これらの常任事務局員の方は拡大常任幹事会に参加していただきます。

25期 斎藤陽子、28期 竹本久子、62期 千賀茂世、以上の方は幹事兼務の常任事務局員です。

25期 西村喜美江、26期 梅谷武、29期 竹本治男、以上の方は常任事務局員の方です。

###### ②事務局員（事務局長管轄）

新任 29期 林田富士夫

##### 4. 学校人事（報告案件）

①新教頭先生に佐々木里佳先生が北野高校首席（主幹教員）より昇任されました。

②森田里江子教頭先生は府立旭高校校長に昇任され転出されました。

#### 二. 北辰会会則改正の提案

常任幹事会提案を一括採決して頂きます。会則改正1、2資料をよく読んで質問、意見をお待ちしております。

1. 現北辰会会則は2000年から施行されています。20年も経ち会則通り運営できない部分があります。その部分は会長、事務局長、常任幹事会などと相談し会則の総則から逸脱しないように運営してきました。

2. 今後の北辰会のためにも現状の運営形態に即した会則に改正した方がすっきりします。

新しい考えの根本的な改正では有りません。

3. 皆さんに会則を改正部分と新会則等2資料を同封いたします。

4. 皆様から質問、提案が有れば事務局長などにご連絡下さい。

5. 4に基づき改正案に変更が有れば幹事会当日提案致します。

6. 幹事会では改正案の審議を省略して事務局長の包括的説明を受け、皆さんからの質問を受けます。

その後、間違いの訂正や細部の文言修正含む承認を一括採決して頂きます。

#### 三. 会計報告

会計、会計監査報告の後、質疑応答と会計報告の承認をお願いします。（別紙 会計収支報告書、科目別集計表を参照下さい）（会計報告は幹事会承認案件）

①2019年の繰越金は104万円です。2018年繰越金198万円に比べて94万円減少しています。これは2018年総会時に発行した文集「蛭に雪に」上下巻が2冊に増え発行予算が80万円増加した影響です。

②北辰会通常のランニング予算は120万円をみていますが2019年は98万円に減額しました。

③北辰会自体が小さく成っています。実情に合わせた支出をしています。

④組織活動費は「声の便り」、「北辰HP」、事務所維持費のみとさせて頂きました。支出21万円。

⑤役員活動費は無しにさせて頂きました。  
2020年より事務所維持費も年額2.4万円減額致します。

⑥会議費についても交通費補助のみとさせて頂いています。6万円削減致しました。支出7万円。

⑦2019年賛助金は4名の方から1万3500円頂きました。

今後とも皆様から頂いた賛助金はむだなく有意義に使用させて頂きます。

#### 四. 活動報告（事務局報告）質疑応答

##### 1. 会報25号の発行

32p 1720部 61万7716円

戻り調査12名、再発送4名、死去1名、辞退・行方不明18名の方々の名簿処理を致しました。

##### 2. 「北辰会声の便り」

①2019年は16期まで広げ390名の方には11名の女性事務局員が「北辰会声の便り」を届けています。44名の方々の住所変更を致しました。

②この活動は高齢になられた諸先輩からは気が休まる、元気を頂ける活動との評価を頂いていると思っています。

##### 3. 「北辰会HP」の報告 兼田事務局次長

2019年3月幹事会での報告以降も掲載記事の更新が出来ていますが、10月以降は掲載記事が少なくなっています。

#### 2017年1月～2019年12月の閲覧状況

| 閲覧月       | 1月   | 2月   | 3月   | 4月   | 5月   | 6月   |
|-----------|------|------|------|------|------|------|
| 2017年閲覧者数 | 1547 | 1649 | 1687 | 1939 | 2043 | 2164 |
| 2018年閲覧者数 | 1979 | 2062 | 2882 | 2504 | 2344 | 2489 |
| 2019年閲覧者数 | 3817 | 3042 | 3728 | 3530 | 3530 | 2739 |
| 閲覧月       | 7月   | 8月   | 9月   | 10月  | 11月  | 12月  |
| 2017年閲覧者数 | 1877 | 1580 | 1671 | 1791 | 1658 | 1871 |
| 2018年閲覧者数 | 3648 | 2409 | 2568 | 3286 | 4194 | 3566 |
| 2019年閲覧者数 | 2804 | 3024 | 3083 | 2704 | 2646 | 2609 |

2019年は、1月から5月までは3000～3800回/月のアクセスがありましたが、6月以降は若干の減少傾向がみられ3000～2600回/月のアクセスとなっています。それでも2017年と比較すると1000回/月の増加であり、一定のリピーターの方々に継続して閲覧して

頂いていると思われます。若干の減少は10月以降更新記事が少なかった事が関係しているのではないかと推測しています。今後ともアクセス数を維持できるように、会員皆様のご協力を宜しくお願いします。

#### 4. 同期会・同好会について

**13期** 「歩こう会」は皆様体調不良がある中、3回開催出来ました。JRでの一筆書き旅行を楽しみました。通算137回を数え継続しています。

**17期会** 10月16日参加者21名でした。武田尾温泉で宿泊と食事をしました。

**18期会** 毎年20名を超える方の参加で開催しています。古城前会長会社新社屋で25名の参加で開催致しました。2020年は3月ごろを予定しております。

**19期会** 南部会として11月19日、大阪駅第3ビルで14名の参加で開催されました。

**21期会** 同期会とは別に幹事さん中心に小グループの懇親会が開催されています。

**23期会** ポンコツ会が11月11日、篠山で宿泊しました。14名参加致しました。

**24期会** 5月13日、十三東ジャンボカラオケ大集会室で山本・菊井先生を含む20名の参加で開催されました。食料持込みで食べ、飲み、喋り、歌いの大宴会同期会でした。

**25期会** 6月9日「十三東こがんこ」23名の参加で開催されました。毎年の「25期会だより」14回の近況集を発行しています。活動費は皆様から頂いています。世話人の連絡はライングループで行っています。今年も6月ごろ開催予定です。

**27期会** 5月19日 宝塚がんこ店で、的場、南野、山田信也3先生を含め18名の同期会でした。

**29期会** 友人たちの小会合がこまめに開かれています。

**若手同期会** 62期幹事千賀さんを中心に5～6名の方とライングループで情報交換をしています。

**山岳同好会懇親会** 期を越えた集まりで2019年11月 第3回の懇親会を9名、うち初参加2名で「がんこ十三総本店」で開催しまし



た。

#### 途上人KITANO

- ①金剛山雪中登山（2月1日）参加者10名。
- ②2019年5月16日 23期畑地、三橋さんの企画で河内長野の滝畑ダム方面へ、途上人より6名、山田先生参加
- ③2019年途上人例会 11/18～11/19 小豆島観光、寒霞溪ハイキング、14名参加
- ④2019年忘年会（12月7日）16名。

テニスOB会 11月に「十三がんこ寿司」で26期生から30期生の9名の参加で開催致しました。今回は10回目です。3次会までの盛り上がりでした。毎年開催を目標にしています。

#### 五、賛助金運動に取り組みます。

1. 2022年総会までの中間年に当たります。目標は200万円、一人1口3千円を目安でお願い致します。前回中間年2016年では422名の方々から231万円の賛助金を頂きました。

2. 2022年までの活動費をお願い致します。
3. 会報26号に「賛助金のお願い」「郵便振替用紙」を同封いたします。振込料は無料です。

#### \*事務局より

この議案書は北辰会報26号用に抜粋、編集致しました。

訃報（敬称略）お悔やみ申し上げます。

事務局に届いています。

恩師 磯田 弘道 2018年

川口 一夫 2018年

#### お詫び

昨年の北辰会報25号P11の「太極拳と出合って」の作者 徳永幸枝さんの期は29期です訂正してお詫び申し上げます。

2020年 5月吉日

北 辰 会 会 長 岡 田 多 聞  
北 辰 会 事 務 局 長 前 田 直 人

## 北辰会賛助金(運営資金カンパ)のお願い

平素は北辰会活動に暖かいご支援を頂き感謝申し上げます。

今年は新型コロナウイルス感染拡大が大問題となり、北辰会も影響を受けて2020年幹事会の延期を決定しました。4月以降北辰会の活動も住居での事務処理で対応しています。その中で、北辰会が皆様のオアシスである旗を降ろすわけにはいきません。皆様に元気をお届け出来るように共に歩みたいと思います。皆様も十分に体調維持管理に努めて下さい。

北辰会の活動は、会員皆様からの賛助金を戴いて運営しております。年会費を徴収せず、総会時と総会の中間年が「賛助金運動」対象年となっております。今年は賛助金をお願いする年です。

皆様からの賛助金とご支援のお陰で、「北辰会報」の配布、「北辰会HP」の運営、「北辰会声の便り」のお届け、幹事会の開催援助等々の北辰会活動を進めています。北辰会を一層皆様の身近な存在にしていきたいと努力致しております。2018年は200名の参加で北辰会総会・懇親会を明るく元気よく開催出来ました。

2018年賛助金運動では456名の皆様から総額205万円を頂き、目標を達成することが出来ました。皆様の厚いご支援に感謝申し上げます。

北辰会の2019年1年間の支出は約100万円です。この内、主な支出は会報25号発行費61万円です。繰越金は103万円を確保しています。例年実質繰越金は200万円を超えています。減少の要因は文集北辰V発行費が上下巻2冊となり発行経費が増加したためです。このため、北辰会拡大常任幹事会は必要経費を事務局費のみとし、他は大幅にカットして計画内予算執行に向けて取組んでいます。

2020年、2021年の2年間の活動費として200万円を見込んでいます。

**賛助金 200万円** を目標としています。

1口3千円を目安でお願い致します。

新型コロナウイルス問題で皆様の生活へのしわ寄せ、年金生活、医療費等々で皆様の生活も厳しいことと推察しております。

皆様の年齢も考え、会員相互の信頼と絆を一層堅固なものにして、常に活力、安らぎを与えてくれる北辰会を維持するためにも、この目標はぜひ実現し、出来る限り北辰会を元気に存続させたいと願っております。役員一同誠心誠意努力して参ります。皆様の絶大なるご支援をお願い申し上げます。

\* 添付の郵便振替用紙をご利用下さい。(振込み料は不要です)

\* 出来る限り6月末日までに振込みお願い致します。

\* 文集は在庫がありますので、ご購入希望の方は振込み用紙に。(1冊1千円送料込み)

「ゆうべの星」、「はるけき流れ」、「ほたるに雪に 上」、「ほたるに雪に 下」

### 編 集 後 記

北辰会報は、例年北辰会総会・懇親会に関連して4月下旬に届くように発行していましたが、今回新型コロナウイルス感染拡大の影響による北辰会幹事会の延期等もあり、5月下旬の発行となりました。現事務局体制での4月の発行は、1月早々の北辰会会計報告と監査、3月の北辰会幹事会に向けた議案書の作成と発行、および開催準備。これと並行した会報発行の準備、等々と年末から息つく暇もない日程でした。

今後の北辰会報の発行は日程に余裕を持たせ

て5月下旬とするように変更し、なお一層、皆様に元気と喜びと持って頂き北辰会の絆となる北辰会報を目指します。ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

なお、北辰会報と併せて「北辰会HP」～北辰会の広場～を充実させております。こちらも皆様に分かり易く、楽しくなるように頑張っています。皆様の記事の投稿をお待ちしています。

事務局一同